

日本共産党 日立市議団ニュース

No. 17 2003年10月16日

発行 日本共産党日立市議団

連絡先 日本共産党北部地区委員会

日立市石名坂町 1525-21/ (53)8501



小林真美子

(21)4919



大曾根勝正

(52)1570

ご相談はお気軽にどうぞ

「9条は日本・アジアの宝」

10・12演説会 森原候補、改憲阻止訴え

衆院茨城5区の日本共産党演説会が12日、森原公敏・北関東ブロック比例代表候補を迎え、日立市内で約80人が参加して開かれました。

森原候補は国民に痛みと不安を押し付けてきた自民、公明の政治を批判し、消費税大増税計画反対を力説。「日本とアジアの宝、憲法九条を守ろう」と訴えました。

同時に、民主党が消費税増税を容認し、憲法を変える事に反対していないと指摘。アメリカいいなりの外交が日本の将来をあやういものにするとのべ、自主的な外交を確立するためにも日本共産党の前進が必要と強調し、「勇退した矢島恒夫さんの議席を必ず引き継がせてください。比例選挙で日本共産党と書く人を広げに広げてください」とよびかけました。

大内5区候補訴え

26歳の誕生日をこの日迎えた大内智子5区候補は、農業や青年の就職難、平和の問題に触れ、「青年がいきいきと働ける政治を実現しよう」と訴えました。

演説会に参加したダンプ労働者は「3月からほとんど仕事がない。小泉『構造改革』と自民党はとんでもない。安心して生活ができるような政治をつくってほしい」と話していました。

同選挙区内では、民主前職が労組しめつけに躍起。自民党も安倍幹事長の演説会を予定するなど、各党とも総力戦を展開しています。

合併協議は今

～国民健康保険事業の調整は？

10月14日、産業福祉委員協議会が開かれ、十王町との合併協議に係る国民健康保険事業及び介護保険事業の調整方針について執行部から報告がありました。

- ・ 十王町の国民健康保険を日立市の制度に平成17年度から統一する

- ・ 賦課の率については合併年度及び平成 17 年度は現行通り、平成 18 年度、19 年度は段階的に調整、平成 20 年度から統一する。
- ・ 葬祭費の支給については合併日から日立市の制度を適用する。

日立市 5 万円

十王町 3 万円

大曾根市議：国民健康保険料の賦課で日立市の均等割り、平等割りが県内でも高いため低所得者の保険料が高くなっている。それに十王町が統一することになると十王町の所得の低い方の保険料が高くなってしまう。収納率でも影響が出るのではないか

国保課長：所得額が基礎控除額に下の低所得者は 6 割、4 割の軽減措置が受けられる。十王町の約 2 1 0 0 世帯のうち約 8 0 0 世帯で軽減が受けられる。

大曾根市議：軽減措置が受けられない場合、年間 7 0 0 0 円以上の値上げになる。不況の中でたいへんな負担増になる。

と大曾根市議は質問しました。

総務委員会視察

小林真美子市議

10月7日から9日まで小林市議は総務委員会の視察で北海道の道東にある大樹町と釧路市を訪問しました。地震で大樹町役場の展望塔は崩れて修理中、釧路市でも歩道のひびわれなどありました。

(写真は、大樹町、成層圏飛行実験のための倉庫)



日本共産党北部地区委員会ホームページは <http://www.jcp-net.jp/ibahoku> です。

「日立市議団ニュース」のバックナンバーもご覧いただけます。

北部地区委員会のホームページで大内智子 5 区予定候補が訴えている動画をご覧ください。

ご意見、ご感想をお寄せ下さい。